

# 住友化学 i-農力だより

<http://www.i-nouryoku.com/index.html>

第82号 平成23年10月31日  
発行 住友化学(株) アグロ事業部  
お客様相談室 0570-058-669  
編集者 佐伯晴子  
発行責任者 南 圭三郎

## 目次

農家さん訪問記 (66) . . . . .	p.1
スミチオン剤50周年キャンペーン！ 「記念の森」植樹レポート . . . . .	p.6
住友化学アグログループ紹介 レインボー薬品(株) . . . . .	p.9
今月の肥料紹介 . . . . .	p.10
今月のお奨め農薬 . . . . .	p.11
今月のご相談から . . . . .	p.12
お役立ちプチ情報 . . . . .	p.13
農薬登録情報 . . . . .	p.14
病害虫発生情報 . . . . .	p.15
最近の「お・・美味しい！」 . . . . .	p.16
編集後記 . . . . .	p.17



ヤマセミ(加賀科)とミズナラ(ブナ科)  
富樫 信樹 画

## 農家さん訪問記(66)

### とかちの畑の特選なたね油にチャレンジ！

そろそろ大雪山の初冠雪の便りが聞えてきそうな北海道、我々を乗せた B737 型機は夕方とかち帯広空港へランディングしました。今回お訪ねしたのは、北海道十勝総合振興局(旧十勝支庁)管内にある河東郡音更(おとふけ)町の大場勝さん(30歳)です。北海道と言えば畑作、畑作と言えば十勝と全国的に有名な大農業地域で、未来を託された後継者として生き活きと農業に専心されている大場さんにお話を伺いました。(取材日：9月20、21日)



大場 勝さん(事務所にて)

空港から約40分ほど広々とした大地を走ると、大場さんの住む音更町に入ります。音更町は帯広市の北隣に位置し、十勝でも5本の指に入る畑作物の大産地です。また帯広市のベットタウンとしても発展しており、植物性有機物を含んだモール温泉で有名な十勝川温泉や、サケが遡上する十勝川の千代田堰堤などの観光地もあり、北海道の大自然を満喫できる場所でもあります。今回の取材は大場さんの農作業が多忙ということもあり、その日の夜と翌日の朝の二度となりました。

## 畑作物の大産地「十勝」で大規模農業に取り組む！

まず、大場さんの曾お祖父さんが明治時代に富山県から音更町の万年へ入植されたそうです。未開の原生林を切り開き、手作業で農地を少しずつ拡大してきたとのこと。そのご苦労は想像を絶するものだったのではないのでしょうか。その後今のお祖父さんが独立され、規模拡大にともなって昭和28年に現在地（中音更光和）に移ったとのことでした。



これが大場家の案内板です

では、農業への取組みについてご紹介します。大場さんは現在、「有限会社ダイワファーム」でお仕事をしています。この会社は18年前に大場さんのお父さんが設立しました。社名は「農業を通じて大きな輪を作りたい」ということから命名したと、お父さんから伺ったそうです。後でご紹介しますが、大場さんはその謂れのとおり活動を始めています。会社は、大場さんご夫婦とご両親の4名、そして派遣社員（派遣会社と契約）で運営しています。これは、仕事を一年間安定して保証できない為です。派遣社員は農繁期ですが、時期によって4名から10名です。経営規模は約93ヘクタール。具体的には、小麦（33ヘクタール）、馬鈴しょ（19ヘクタール）、てん菜（4ヘクタール）、豆類（22ヘクタール）の畑作物と、ながいも（6ヘクタール）、にんじん（4ヘクタール）、菜種（3.6ヘクタール）を栽培しています。

これだけの面積を管理するため活躍するのがトラクターです。タイヤが身の丈ほどもある7台のトラクターが作物の栽培期間中ほぼフル稼働しています。年間の燃料だけで約2万リッターかかります。運転するのは大場さんとお父さんだけで、それこそ朝から晩まで色々な作業機をつけてトラクターを運転している状況です。大規模土地利用型農業の醍醐味ですね。

## 経営の根幹はながいも生産！

栽培している作物の中で会社経営の根幹をなすのは「ながいも」です。お父さんが栽培を始めてから26年間栽培を続けています。収量は10アールあたり3～4トン。350円/kgで出荷出来れば経営的にはOK！だそうです。十勝は既にブランドを確立している帯広川西など競争相手が多い激戦地です。また、地域的に雨が多く、土壌も粘土質で決して栽培条件に恵まれた地域ではありません。品種は「音更選抜」が100%です。首の部分が長いのが特徴ですが、大雨で水につかると真っ直ぐに伸びず「手のひら状」のものになり、商品価値が無くなってしまふとのことでした。また、肥料が下に抜けて



ながいも畑

しまうため、秋には肥料切れを起こすことも大問題です。6年前には集中豪雨で全滅したこともありましたが、ながいもは共済の対象外なので、減収は損失に直結するリスクの高い作物です。

また、ながいもは同じ畑で栽培を続けると病害が多発するなど連作障害があり品質や収量が低下します。この点については大規模経営の利点を生かし、ながいも 馬鈴しょ 小麦 小麦（小麦） 緑肥 ながいもという輪作体系を継続して、ながいも畑は出来るだけ長く休めるようにしています。

降雨による肥料の流亡に対しても肥培管理方法の改善などの努力を惜しみません。弊社の元肥一発肥料の試験にも取り組んで頂いているようです。現時点では体系施肥区と遜色ないとのことで、期待できるのではとの評価でした。



**肥効切れで葉色が薄い！**



**このような葉色が理想！**

このように、色々なことにチャレンジをして栽培を継続している大場さんの、ながいもへのこだわりをお聞きしました。大場さんご自身は味にポイントをおいているのですが、形が悪いといくら良いものを作っても消費者に食べてもらえないため、まずは形の良いものが出来るように栽培管理を行っています。その上で粘土質土壌の欠点を利点に変えて粘りと甘みのあるながいもを作りたいと話していました。栽培条件の厳しい中で会社の経営を安定させる作物（商品）まで育て上げることができたのは、プロとしてこだわりをもって毎年毎月毎週毎日努力を惜みず、お父さんの代から継続してきたからだと思います。

## 日本の食糧基地、十勝地方の自給率は1100%！

北海道は日本の食糧基地と言われています。因みに、日本の食糧自給率は39%、北海道は約200%、そして大場さんの住む十勝では1100%です。北海道はこれまで1次産業（農業）として多くの食糧を皆さんの食卓へ提供してきました。しかし、農業を将来へ向かって魅力ある産業へと変革させるためには、今までのような原料出荷からの脱皮が急務です。巷間で言われている6次産業（生産だけでなく、食品加工・流通販売にも業務展開している経営形態）としての農業の発展です。音更町では、その実現に向けて2年前に新しい作物の栽培が始まりました。国内産（地場産）の菜種油を生産したいという町内のある農家さんの声かけに賛同し、菜種栽培を始めた6人のメンバーの一人が大場さんです。菜種栽培は「農業を通じて大きな輪をつくる」という社是を具現化するためのチャレンジでもあり、地域の6次産業を育てるためのチャレンジでもありません。その活動を仲間たちと始めています。それでは具体的に紹介しましょう。

## なたね油で6次産業の確立へ！

音更町で栽培している菜種は、純国産の非遺伝子組み換えの「キザキノナタネ」という品種です。8月下旬に播種をして、厳しい冬を乗り越え、翌年の8月中旬から下旬に収穫をします。ひと1年がかりです。しかし管理費が少なく済むのだそうです。それは小麦で使用している播種機やコンバインを菜種栽培でも利用することで、大規模経営を維持するための投資がそのまま活用できるからです。収量は10アール当たり2500kg（5俵）から4000kg（8俵）、3年目の播種も



先月無事終了しています。大場さんは今年栽培面積を昨年の1.5ヘクタールから3.6ヘクタールに倍増しました。倍増したのは、菜種の原料出荷以外に当初の目標である菜種油を生産するためです。今年菜種の生産者は29名に増えましたが、その中で6名が菜種油の商品化を今年実現しました。商品名は『**とかちの畑 特選音更産なたね油**』です。今は、道外の業者に搾油作業を委託しているようですが、近い将来地場で出来るようにするとのこと。大場さんたちは単に油を生産・販売しているだけでなく、地元の小・中学校の学校給食へ商品を提供したり、一般の消費者へサンプルを提供してアンケート調査を行うなど知名度アップやさらなる商品の開発にも取り組んでいます。菜種油に満足することなく、その次の高付加価値商品としてドレッシングやパスタソースなども検討しています。



190g入りの特選なたね油を手に！

## 菜の花畑を活用した蜂蜜生産もスタート！

菜の花から皆さんは何を連想されますか？一面の黄色い花畑を見ていると忙しく働いている小さな昆虫を目にしたいと思います。そうですミツバチです。音更町の菜の花畑は今71ヘクタールまで増えています。広大な菜の花畑はミツバチにとっても近くて最大の蜜源です。種子からは油を、花からは蜂蜜をと既に仲間の農家は巣箱を畑に設置し、蜂蜜を採取し、今年音更町の道の駅の特産センター祭りで販売したところ、なたね油も蜂蜜も完売したそうです。今年からは養蜂所に巣箱の設置をお願いし、採取した蜂蜜を商品として販売を始めました。大場さんも来年から巣箱を設置し、菜の花栽培農家が全員蜂蜜採取も出来るようにしたいとお話されていました。広大な菜の花畑でのびのびと蜜を採取するミツバチも幸せですね。

## おやじの背中を見て農業の世界へ！

農業を通じて色々なチャレンジをしている大場さんですが、最初は長男と言うプレッシャーもあり、農業とは違う機械整備士となるべく専門学校で勉強をしていました。しかし、子どもの頃から手伝っている農作業をお父さんが活き活きとしてやっている姿を見て、農業をやろう！という気持ちに変わったそうです。そして10年が過ぎました。農業委員をされているお父さんはまだ大きな壁かもしれませんが、大場家伝統のながいも栽培をさらに発展させるだけでなく、菜種油や蜂蜜など6次産業を牽引する後継者として、ご自身も農業に活き活きとして取り組んでいます。その姿は4世代目のご子息にも必ず受け継がれていくものと確信しています。人それぞれ違いますが、俗に言う「おやじの背中」は大切だとこの取材を通じて強く感じました。



馬鈴しょ収穫用の大型トラクターの前で！  
(左から大場さん、お父さん、お母さん、そして派遣で頑張っている皆さんです)

## 農閑期は家族と近くの温泉へ！

大場さんのご趣味は、もともとバイクや車でしたが、休みも取れない多忙の毎日では封印せざるを得なかったそうです。また、農閑期とはいっても作物毎の会合等で冬場でも多忙な大場さんです。一つ年下の奥様との間には、6歳の長女と3歳の次女、そして1歳になったばかりの長男と、三人のお子さんがいらっしやいます。一番下のお子さんがまだまだ小さいので、旅行にも行けないようです。せいぜい近くの温泉に出掛けて、一年間の疲れを癒すのが唯一の楽しみだとおっしゃっていました。6歳の長女くらいは、そろそろディズニーランドにでも連れて行ってあげたいというのが、大場さんの当面の懸案のようでした。

## 台風接近で超多忙な中での2日目の取材！



2日目の取材は、馬鈴しょの収穫真っ最中の朝でした。生憎、翌日には大型の台風15号が北海道に大接近する予報が出ていて、この日にできるだけの収穫をしなければならぬということで、早朝から作業を開始している中での取材でした。畑が大雨に遭うと、数日間トラクターが入れない為、収穫作業が停滞するとともに、その品質にも影響することです。

そんな中、取材班の一人がその機械の大きさと収穫作業を初めて目の前で見て感動しておりました。9月は雨が多く作業が遅れていて1分でも時間が惜しいのに、作業の手を止めていただき、じゃがいも畑に隣接した「ながいも」畑で栽培について熱く語っていただきました。技術の向上も大切ですが、『熱意！』成功の可否はこれですね。これからも規模拡大、生産性の向上、さらなる6次産業の創生に向けて日々努力を惜しまれないでしょう。



上：大型トラクターで馬鈴しょの収穫中です

（お母さんも入って4人で選別作業、お父さんは作業状況を見ながら微調整運転中）

下：不良品で選別された馬鈴しょです

（何で？実は少し青みがかったためでした。品質には問題無いのですが...）

### 追記

弊社の関係会社である日本エコアグロ株が、今年7月にオープンしたネット通販「Web エコアグロ」で、今回ご紹介した菜種油を出品しております。低温圧搾法という方法で搾油していることで、健康に有用な栄養素やビタミン類が豊富な油です。是非お試し下さい！

（黒田、小川）

[目次へ戻る](#)



## スミチオン剤50周年キャンペーン！ ～ 「記念の森」植樹レポート ～



大地いっぱい、ありがとう。

### スミチオン剤は愛されて早や50年！

1962年4月にスミチオン剤は誕生しました(1961年に殺虫剤スミチオン乳剤として農薬登録され、翌年に発売)。当時日本は、新幹線開通、東京オリンピック開催を控え、高度経済成長に向かって着々と歩み出していました。国民全体が、豊かで健康な生活を目指すなかで、スミチオン剤はまさしく時代の期待を背負ってスタートを切ったのです。以来50年、高い評価を頂き、幅広い分野での適用作物、多種多様の適用害虫に登録内容をひろげ、併せてさまざまな場面で使用できる製剤の開発を経ながら、国内をはじめ海外でもひろく活用されてきました。また、マラリア防止や防疫薬として使用されるなど、人々の生活周辺でも幅広く貢献を果たしています。



(スミチオン剤製品例)  
スミチオン乳剤

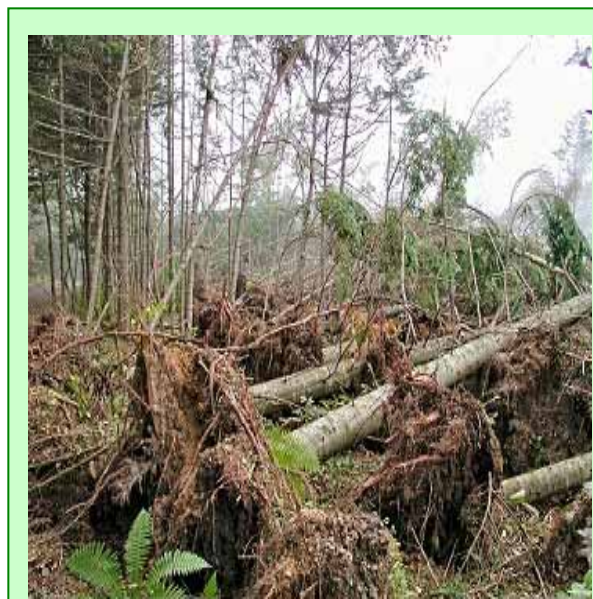
### 感謝を込めてスミチオン剤50周年キャンペーンを実施！

前述のとおり、スミチオン剤は、来年の4月で50周年を迎えます。これを記念してこれから来年にかけて、皆様への「感謝」の気持ちを込めたキャンペーンを実施して参ります。その一環として、まずは“大地のめぐみ”への感謝ということで、「植樹活動を通じた環境保全活動」をスタートします。おりしも今年には国際森林年( )、早速キャンペーン第一弾として、スミチオン剤50周年記念の森 植樹祭を実施しました。今回の - 農力だよりでは、その様子をレポートしたいと思います。

### 傷ついた森の再生を！

この植樹活動ですが、せっかくキャンペーンで感謝の気持ちを表すのなら、社会貢献活動を通じて表現してはどうか、それに、継続的な取り組みをするべきだということで実施に至ったものです。

植樹の場所は北海道千歳市、空港から車で30分ほどにある森林です。この森林は国有林で、平成16年の台風18号により甚大な風倒木被害が発生した地区です。記念の森は、全部で2.58ヘクタールという広さです。今回は、第1回目ということで、約1ヘクタール分を植えることになりました。以後、継続的に植樹を続ける予定です。植える木の種類ですが、アカエゾマツ、トドマツ、アオダモ、ナラ、カツラ、ハルニレなど広葉樹・針葉樹織り交ぜて8種類ほどになります。



風倒木の様子



植樹祭は、10月5日に行われました。当日は、北海道らしい澄んだ秋晴れで、まさに植樹祭日和！気温も、少し動けば汗ばむほどの上天気でした。参加者は、石狩森林管理署の皆さん、NPO法人の皆さん、スミチオン剤販売会社の皆さん、弊社社員を含めて、大人が総勢約30名。それに加えて、地元千歳市の小学校6年生の皆さんと教師の皆さん約60名！これは頼もしい助っ人です。総勢約90名による植樹が、この森を管理する石狩森林管理署の皆さんの指導の下、一斉に始まりました。

今回植えるのは、計1133本です。そのうち、小学生の皆さんには210本ほどを植えてもらいました。小学生の皆さんは、「カミネッコ」と呼ばれるダンボール製の植樹用ポットを使って植樹をします。このカミネッコは、すでに学校の授業で手作りして当日持ってきてくださったもので、生徒さん1人で3個ほど作成したそうです。このポットに、現場で土と苗を入れ込み、ダンボールのフタをして、3つを1セットにして直接地面に植えていきます。ダンボールは土に還る素材のものを使っているのでそのまま植えても大丈夫というわけです（よく出来ている！）。よくよく見るとカミネッコには、生徒さん手書きの様々なメッセージや名前なんかが見えます。（楽しみながら作ってくれた様子が伺えます。）

一方、大人チームの植樹は4チームに分かれて、地道に地植えの作業です。土地の地ならしはすでにされており、マークされた場所を20cmほどクワなどで掘って、そこに苗を植えていくという作業ですが、さすが皆さん、農作業には慣れた方たち！どんどん苗が植えられています。筆者もカメラ片手に取材をしながら、10本ほど植えさせてもら

りましたが、柔らかい土壌のためみるみる足を取られて苦戦気味。足手まといになっていたのならごめんなさい（汗）

さて、生徒さんの植樹は大人以上に手際よく進み、見事時間内に終わりました。そこで一旦、記念写真を撮ります（パチリ！）。その後、まだまだ一所懸命作業をしている大人チームに加勢をしてくれました。そのおかげで、時間内には全部は難しいかな？と思われていた1133本、全て所定の場所に植えることができました。

植樹作業自体は、2時間ほどでしたが、終始、生徒さんたちの歓声や笑顔が溢れて和やかな雰囲気でした。植樹も終わりに近づいた頃、生徒さんの1人が「雪虫だ！」と言いました。よく見ると、たしかにフワフワと白い小さな虫があちこちに飛んでいます。この雪虫はアブ



こんなメッセージも・・・



大人も子供も一緒に！



植樹後のトドマツ





ラムシの一種ですが、この虫が飛び始めるとそろそろ初雪が降ると北海道で言われているそうです。10月も始まったばかりなのに、もう雪??と本州組の私なんかは思ってしまいましたが、雪が降ろうと何があるかと、この生まれたばかりの森は、力強く育ててほしいと思いました。

この植樹活動で私たちは、参加していただいた皆さんとともに、森林を守り育てる大切さを学び、“大地”への感謝の気持ちをもってゆたかな未来づくりに貢献していきたいと思っています。また、スミチオン50周年キャンペーンは、植樹活動のほかにも、各地でいろいろと展開していきます。冒頭のハートのマークを見かけたら、少しでもこの森のことを思い出していただければ幸いです。



みんなで記念写真 がんばりました~!!

( )国際森林年とは？

2011年は、国連の定める「国際森林年」(International Year of Forests)です。国連総会決議により、国際森林年では、現在・未来の世代のため、全てのタイプの森林の持続可能な森林経営、保全、持続可能な開発を強化することについて、あらゆるレベルでの認識を高めるよう努力すべきとされています。

また、国連は加盟国が国際森林年に関連した活動を促進することを奨励しており、我が国でも各地で様々な取組が行われる事が期待されています。(林野庁ホームページより)

(佐伯)

[目次へ戻る](#)



## お墓まわりの雑草を管理しましょう！



お墓のまわりは、常にきれいに、気持ちよく整えておきたいものです。

しかし頻繁にお手入れができないような場合、放っておくと繁殖力の強い雑草がはびこってしまいます。

そうなる前に、除草剤を上手に利用してはいかがでしょうか。

2012年春、お墓まわりの雑草管理に最適な除草剤がレインボー薬品より新発売されます。



長く効かせる、粒剤タイプ  
ネコソギエースX粒剤  
100g入り

長期間雑草を生やしたくないときに、年に数回しかお参りできないお墓のまわりにおすすめ。

春先、雑草が生える前～生えはじめの使用が最も効果的！

枯らしたくない植物付近の使用には向きません。



伸びた雑草に効く、液剤タイプ  
ネコソギAL1.0  
500ml入り

草丈が伸びてしまった雑草(30cm以下)を、速く根まで枯らしたいときに、アスファルトのすき間から生えた雑草も根まで駆除できます。樹のまわりにも使えます。

雑草を生やさなくする効果はありません。

### 【共通の特長】

持ち運びに便利な使いきりタイプ。

小面積(約4坪程度)の駐車場の除草にも最適なサイズ!!

墓石、塗装面、金属等を腐食させることはありません。

ただし、薬剤を付着したままにしておくと変色の原因となるおそれがあるので、墓石や塗装面にかからないようにしてください。

人やペットへの安全性が高い除草剤です。

お問い合わせ先：

レインボー薬品株式会社

TEL 03(6740)7777

平日 9:00~17:00

(土・日・祝日は休み)

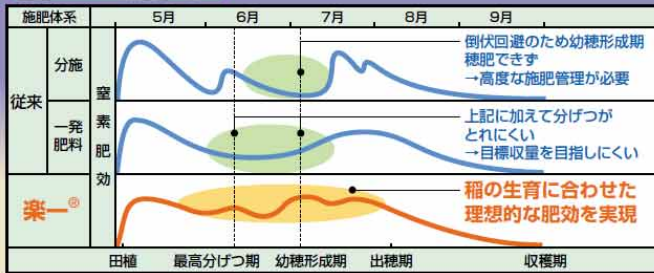
<http://www.rainbow-f.co.jp>

今月の肥料紹介 **楽一：倒伏軽減剤入り 水稻用基肥一発肥料**

# 今年も倒伏…… 楽一®で、あなたの不安をやわらげます。

倒れやすく作りにくかったコシヒカリ等の良食味米品種が、誰にでも楽して簡単に栽培できる一発肥料です。

肥効イメージ(新潟県の場合)



## 特長

### 1 基肥一発肥料です。

追肥の必要がなく、基肥だけで収穫まで肥効が続きます。

### 2 大変省力になります。

追肥や穂肥診断の手間がなく、更に倒伏しにくいので、収穫時の手間が省けます。

### 3 倒伏しにくくなります。

倒伏軽減剤により節間の伸びを抑えることで草丈が短くなり、倒伏しにくくなります。

### 4 収量・品質の安定・向上がはかれます。

稲の生育に最も適切な時期に肥料が効くため、登熟が進み、収量が安定し、粒張りや食味が向上します。



#### 楽一の収量性(試験場の結果)

(kg/10a)

楽一®収量：平均584kg/10a  
慣行収量：平均562kg/10a

#### 粒張りが向上

玄米粒厚分布に及ぼす影響  
(2003年 岡山県上房郡)

分布割合 (%)

1.8以下 1.8 1.9 2.0 2.1 2.2以上  
粒厚(mm)

楽一®  
慣行施肥

玄米の粒厚が大粒の方へシフトし、  
くず米の比率が減る事が認められます。

#### 楽一の米の外観品質向上効果

福井農試における3か年の試験で乳白米発生軽減を確認

試験区	完全粒	乳白粒	心白粒等
楽一®区	84.1	5.6	10.4
慣行区	72.4	14.9	12.7

メカニズム:  
登熟期の適切な肥効  
一次枝梗着粒割合の増加(確認中)



楽一®のお問い合わせはこちらまで  
住友化学株式会社 アグロ事業部 肥料営業部 電話:03-5543-5783

[目次へ戻る](#)



## 今月のお奨め農薬

### 果樹の穿孔性害虫の休眠期防除に

# ガットキラー乳剤

穿孔性害虫は樹の幹や枝に侵入し、内部を食害して樹を弱らせます。果樹に被害を与える主な穿孔性害虫にはスカシバ類、カミキリムシ類、およびキクイムシ類があります。

もも、うめ、さくら等バラ科の果樹・樹木に大きな被害を与えるコスカシバはチョウ目スカシバガ科に属するガの一種ですが、成虫は透明な翅で一見ハチのように見えます。成虫の発生は年1回です。成虫の発生時期は越冬した幼虫の大きさと春～初夏(老齢幼虫で越冬)、夏～秋(若齢幼虫で越冬)と大きく変わりますが、発蛾最盛期は8～9月頃です。卵は樹皮の割れ目や傷口に産み付けられ、ふ化した幼虫はすぐに樹皮下に潜り込み、生育すると形成層を食害するようになります。食入孔近くから虫糞を出し、樹脂(ヤニ)も流れ出ます。幼虫は樹皮下で越冬します。成長すると25～30mmになります。加害された樹は樹勢が衰えるとともに樹皮が荒れて、さらに寄生を受けやすくなります。たくさん寄生すると食害部から幹枯れ・枝枯れを起こしやすくなります。バラ科の果樹・樹木が被害を受けやすいのですが、それ以外の樹種でも古い樹や胴枯病などで樹勢が弱った樹で被害が発生します。

多くのぶどう品種に被害を与えるブドウトラカミキリはコウチュウ目カミキリムシ科に属します。成虫は体長1～1.5cmで、腹部に黒地で黄色の縞模様があります。成虫は年1回発生しますが、成虫の脱出時期は地域や栽培法で大きく違ってきます。露地栽培では9月上旬頃から成虫が脱出し始めますが、施設栽培では1～2ヶ月早くから成虫の脱出が始まります。卵は芽のりん片の間隙とか、葉柄とつるの間などに1粒ずつ産み付けられます。ふ化した幼虫は芽の付近の粗皮下を食害して成長し、若令幼虫でぶどうの結果母枝付近の表皮下や、2～3年枝の粗皮下で越冬します。被害芽周辺の表皮は黒変し、萌芽が遅れます。また、侵入部から水滴が出ます。

キクイムシ類はコウチュウ目ゾウムシ科に属する昆虫の総称です。キクイムシ類は二次的害虫で、衰弱した樹は加害しますが、樹勢の盛んな健全な樹は加害しません。成虫は小型の甲虫で褐色～黒色、大きさは1mm前後から大きくて数mm程度です。幼虫は無脚です。キクイムシ類は加害部位、加害形態によってバークビートル(形成層を食害)とアンブロシャビートル(材質部に侵入加害し、孔道内にアンブロシャ菌を培養してそれを餌として生活します。幼虫もこの菌を食べて生育します。)の2つのグループに分けられます。スカシバ類、カミキリムシ類は主に樹皮に産卵しますが、キクイムシ類は、樹皮下または材部に穿入し産卵します。

### 【穿孔性害虫の防除法】

#### 1. 耕種的防除

(コスカシバ)

成虫の発生前に交信攪乱用のフェロモン剤を設置する。

10～11月はコスカシバ幼虫は樹皮下の浅いところにいるので、金槌で上からたたいて圧殺する。

食入孔の虫糞と流れてた樹脂から幼虫の被害箇所を見つけナイフで削って幼虫を捕殺する。

(ブドウトラカミキリ)

冬季剪定時に枝の被害部(食入部分の樹皮が黒い)を削って枝内の幼虫を刺し殺す。

剪定枝は速やかに焼却するか、ビニールで覆って高温にして蒸し殺しにする。

萌芽期(3月末～4月末)に水滴の出ている節を削り取る。

#### 2. 薬剤防除

ガットキラー乳剤の有効成分 MEP はスミチオン乳剤の有効成分と同じですが、穿孔性害虫の防除専用剤として開発された製品です。

- ・ コスカシバの休眠期防除は11月末～12月末にガットキラー乳剤100倍液を寄生部の枝幹に散布します。(適用作物：もも、おうとう、ネクタリン、うめ、あんず、すもも)
  - ・ ブドウトラカミキリ防除は落葉期(10月上～中旬)にガットキラー乳剤100倍液を枝に十分に散布します。発生が多い園では萌芽前にもう一度散布します。(適用作物：ぶどう)
  - ・ キクイムシ類防除は休眠期中にガットキラー乳剤の100倍液を樹幹から地際部へ散布します。(適用作物：うめ、あんず、すもも)
- 姉妹製品として、塗布剤のガットサイドS(MEP1%含有)があります。

(鳥取)

[目次へ戻る](#)



ガットキラー乳剤

今月のご相談から

## 総合的病害虫管理(IPM)について教えてください！

**Q 1 .** 最近、IPM防除という言葉をよく耳にしますが、この意味について教えてください。化学農薬を使わない防除法ですか？

**A 1 .** IPMはIntegrated Pest Management の略です。これは、生産性の維持を図りつつ環境にも配慮した病害虫防除法、所謂「総合的病害虫管理」のことです。つまり、**物理的防除法**（熱水消毒、ネット等）、**生物的防除法**（天敵、有用微生物、フェロモン剤等）、**耕種的防除法**（輪作体系、抵抗性品種等）と**化学的防除法**（農薬等）さらに**発生予察法**（気象情報等に基づく発生時期・発生量の予測等）を適切に組合せ、経済的被害許容水準以下に管理しようとする考え方です。従って、IPMは化学農薬を使わないということではなく、上述の様々な防除法を組み合わせることで、化学農薬の使用回数を出来るだけ低減しても、農作物の病害虫被害を経済的に許容できる水準に保つことが目標になります。



**Q 2 .** 貴社で販売しているIPM資材として利用可能な農薬について紹介してください。

**A 2 .** 次のような殺虫剤がありますので、それぞれの特長についてご説明します。なお、詳細につきましては、「住友化学 i - 農力サイト」の製品ガイドをご参照下さい。

**ゴッツA**...微生物（ペキロマイセス テヌイペスT1株の分生子）の力で、施設栽培の野菜類で問題となるコナジラミ類〔オンシツコナジラミ、タバココナジラミ（Bタイプ、Qタイプ）〕やアブラムシ類に有効です。**有機JASに対応可能です。**

**オリスターA**...天敵昆虫（タイリクヒメハナカメムシ成虫）を含有する製剤です。施設栽培の野菜類で問題となるアザミウマ類（スリップス類）に有効です。**有機JASに対応可能です。**

**プレオフロアブル**...新しいタイプの殺虫剤で、天敵、有用昆虫に対する影響が少ないので、IPMに適合します。チョウ（鱗翅）目やハエ（双翅）目の害虫に優れた殺虫活性を示します。

**粘着くん液剤**...有効成分には食品に使用されている**ヒドロキシプロピルデンブ**ンを使用しています。野菜類や果樹等のハダニ類、アブラムシ類に有効で、作用性が「物理的効果」なので、抵抗性発現の恐れも殆どありません。

**粘着くん水和剤**...有効成分に使用されている**デンブ**ンは、ばれいしよとキャッサバ由来のもので、果樹類のハダニ類、アブラムシ類に有効です。**有機JASに対応可能です。**

**ベストガード粒剤**...クロロニコチル系（ネオニコチノイド）の殺虫剤です。タバココナジラミなどの難防除害虫に有効で、優れた浸透移行性と効果の持続性を有しています。

**エスマルクDF、ゼンターリ顆粒水和剤、フローバックDF**...微生物を利用した農薬（BT剤）です。野菜類（エスマルクDF、ゼンターリ顆粒水和剤、フローバックDF）、果樹類・樹木類（エスマルクDF、ゼンターリ顆粒水和剤）、花き類・観葉植物（エスマルクDF）などの広範なチョウ（鱗翅）目害虫の幼虫に対して有効です。本剤は摂食により効果を発現し、接触による効果はありません。**有機JASに対応可能です。**



**フェロディンSL**...ハスモンヨトウの雌成虫が放出する性フェロモンを製剤化した製品です。ハスモンヨトウの雄成虫を誘引しますので、トラップとの併用により雄成虫を大量捕殺し、受精卵数と次世代幼虫を減少させることが可能です。但し、10ヘクタール以上の広い地域で使用して下さい。**有機JASに対応可能です。**

（小川）

[目次へ戻る](#)





## お役立ちプチ情報

### 害虫、病害、雑草の見極め（病害編）

今月の話題は・・・

防除する対象を見極めないと、適正な農薬を選択することができません。  
病気の名前をしっかりと把握しましょう。



トマトうどんこ病



ダイズさび病



ナシ赤星病



リンゴ斑点落葉病



イネいもち病



バラ黒星病

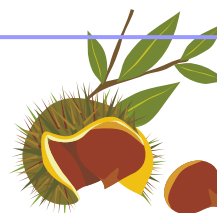
次回は・・・害虫、病害、雑草の見極め（雑草の名前確認篇）です。お楽しみに

（山脇）

[目次へ戻る](#)

**農薬登録情報**

10月12日の主な適用拡大の内容です


**適用拡大**

種類	薬剤名	変更点	作物	病害虫名	使用量ほか		
殺虫剤	アディオン乳剤	作物追加	トレビス	アブラムシ類	3000倍 100～300 /10a	収穫7日前まで 3回以内 散布	
			樹木類 (くちなしを除く)	ケムシ類 アブラムシ類	4000～8000倍 200～700 /10a	発生初期 6回以内 散布	
		害虫追加	くちなし	ケムシ類 アブラムシ類	2000～4000倍 100～300 /10a		
			花き類・観葉植物 (はばたんを除く)	アブラムシ類			
			はばたん	アブラムシ類			
		使用回数 変更	はばたん	本剤の使用回数を「1回」から「6回以内」に変更			
		使用液量 設定	なし、もも、ネクタリン、かき、キウイフルーツ、くり、かんきつ、いちじく、はまなす(果実)、うめ、ハスカップ、さるなし、アロニア、くちなし				200～700 /10a
			きゅうり、ズッキーニ、にがうり、すいか、メロン、かぼちゃ、いちご、ごぼう、だいず、ピーマン、キャベツ、はくさい、だいこん、ブロッコリー、カリフラワー、レタス、リーフレタス、たまねぎ、ねぎ、アスパラガス、豆類(未成熟、ただし、さやえんどう、未成熟そらまめを除く)、未成熟そらまめ、さやえんどう、ほうれんそう、しそ、トマト、ミニトマト、なす、とうがらし類、なばな、ばれいしょ、とうもろこし、あずき、やまのいも、てんさい、さといも、かんしょ、そらまめ、オクラ、しろな、みずな、つるむらさき、食用ゆり、葉ごぼう、食用亜麻、ごま、しゅんぎく、さといも(葉柄)、花き類・観葉植物(はばたんを除く)、はばたん				100～300 /10a
			茶				200～400 /10a
		ダントツ粒剤	適用作物 名変更	「カーネーション」を「花き類・観葉植物(ばら、きくを除く)」に変更 (使用方法等は、従来のカーネーション同様)			
プレオフロアブル	害虫追加	豆類(未成熟)	ハモグリバエ類	1000倍 100～300 /10a	収穫前日まで 2回以内 散布		

(佐伯)

[目次へ戻る](#)



**病害虫発生情報**

10 / 8 ~ 17

**千葉県**

\* 10月14日 特殊報 日本なし / ナシ萎縮病

当社登録薬剤: 該当なし

\* 10月14日 特殊報 さつまいも・ごぼう / アワダチソウゲンバイ

当社登録薬剤: 該当なし

詳細は: <http://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/nourin/boujo/index.html>**長野県**

\* 10月14日 特殊報 クロスグリ(別名:クロフサスグリ、カシス) / スグリコスカシバ

当社登録薬剤: 該当なし

詳細は: <http://www.pref.nagano.jp/xnousei/boujo/>**滋賀県**

\* 10月14日 特殊報 キャベツ、ブロッコリー / トビイロシワアリ

当社登録薬剤: 該当なし

詳細は: <http://www.pref.shiga.jp/g/byogaichu/>

適用内容を確認して、地域に適した薬剤をお使いください。

(小川)

[目次へ戻る](#)



# 最近の「お・・美味しい！」

弊社相談室から佐伯がお送りします  
最近の「お・・美味しい！」  
女性の目・主婦の目・はたまた酒呑み??の目(笑)で  
毎月「これぞ！」というものを紹介します。  
どうぞお楽しみに♪♪♪

## 秋のごちそう きのことワールド

**秋もいよいよ深まってきました。**先月号では、秋の食材ということでフルーツのことを書きましたが、今月号も秋の食材です。それは・・・「**き・の・こ!**」。きのこは今では年中お店で買うことができますが、やはり、旬は秋!この季節どうしても食べたくなります。そのもの自体が旨み成分で美味しいうえに、パラエティもさまざま、値段も手ごろ、カロリーも少なめ・・・良いことづくしのこの食材です。頻繁に食卓に登場させたいところなのですが、実はある理由で(夫がきのこ苦手(味・香りとも))残念ながらあまり登場させることができません。

**そこで、仕方なく?**きのこは会社の社員食堂とか、実家とか、居酒屋とか(笑)、外で食べることになっています。先日も同僚と居酒屋に行った際に、きのこも食べてきました。食べたのは、色んなきのこをそのまま焼く「きのこの網焼き」と、板前さんが丁寧に仕上げる「きのこの天麩羅」です。網焼きは大根おろしと一緒にいただきます。これぞ「きのこ」!というきのこの味をプレートに味をえる一品です。また、天麩羅は、揚げたてをそのまま出してくれます。薄衣をまとったきのこが、これまたジューシー!ここではきのこの他にも新鮮なお刺身とか、まぐろのカマ焼きとか、イカのごろ焼きとか美味しいものをいただきましたが、やっぱりこの日のメインは(私的には)きのこでした(笑)。



ジューシー天麩羅

**自宅ではきのこはほとんど調理しないと言いましたが、**先日、どうしても食べたくなって、とうとう私は暴挙に出ました。夫の帰りが遅い日を見計らって、きのこセットという少量で色々な種類のきのこの入ったセットと私の最も好きなきのこ「舞茸」を1



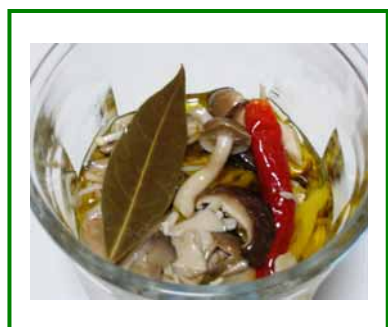
夢のきのこ盛り!

パック購入してきて、2品ほど調理しました!作ったのは各種きのこことベーコンを炒めて料理酒で蒸してから、醤油を少々・・・という簡単なものと、各種きのこを酢等で茹でた後に油で漬けたマリネです。マリネは漬けたあと、何日か置いた方が美味しいので、作って冷ましたら冷蔵庫の奥へ・・・。一方、ベーコンとの炒め物は、早速いただきました。きのこは炒めすぎないのがミソです。シャキシャキ感の残ったきのここと、ベーコンの塩気が見事にMIXして、特別何もしていないのにこれだけ美味しいなんて、これこそ本当の秋のごちそうでした。そ

の後、マリネの方は、良い具合に漬かって、こちらも「ちびちび」と少しずついただいています。

**実は、せっかくきのこを使うのなら・・・**ということで、今回の2品には、本誌冒頭「農家さん訪問記」で紹介され、取材陣がいただいていた貴重な「なたね油」を使わせていただきました。この油ですが、封を開けた瞬間になたねの独特な香りが外にふわ～と飛び出しました。マリネに漬けた時は、なたねの香りが強く「どうなるかしら?」と思いましたが、2・3日後にマリネを食べてみたら、これが美味しい!見事大変身を遂げていました。このように、なたね油は特別な大事な時に使わせていただきます(笑)。ありがとうございました。

**さて、きのこを調理したその後です。**調理中は、窓を開け、換気扇を大いに回し、調理が終わって食事中もそのままにしました。また、調理が終わったら、すぐさま使ったフライパンやら、包丁を洗って、挙句にその後、香りの強いにんにく料理を作ってみたりして、要は証拠隠滅を図ったわけですが、これが功奏したみたいで、どうやら夫に「きのこを調理したこと」はバレなかったようです。帰ってきてから夫の様子を伺っていましたが、どうも気付いていない様子。しめしめ・・・これなら自宅でのきのこ調理、今後も行けそうです!(笑)さて次は何作ろうかな～???(佐伯)





## ~ New ! 編集後記 ~



北海道は広い。十勝の畑は大きい。そして人は素朴で真面目。これが私の十勝の印象です。そこは20数年前、私の営業活動をスタートした思い出の大地でもあります。バリバリの関西人で若かった私は大阪弁通じるかな？話を聞いてくれるかなと不安でした。しかしそれは杞憂でした。人の話は、誠実な態度できちんと聞き、自分の中で消化してから取捨選択して仕事に生かすという風土に、私も言いたいことを言い、やりたいことがやれた、そういう環境を与えてくれたところだと思っています。

もうすぐ「坂の上の雲」の第3部が始まります。明治という新しい時代は、小さな国が西洋列強に追いつくため多くの技術を貪欲に吸収し、そしてすぐ実行に移しました。あの時代を生きた人と同じく、規模は違いますがヨーロッパや米国に近い大規模農業に十勝の農家の皆さんは従事しています。農業機械や散布ノズル一つとっても自らが海外へ渡航し、新しい技術を吸収し、即実践している方に営業活動を通して何度も出会いました。

父祖から代々引き継いだ農業は決して古い家業ではなく、今までと同じようにこれからも新しい技術を取り入れ、農家個々が変化をしながら発展していく産業だと思います。それには新しい力、若い力が必要です。今回取材した大場さんの農業への取り組みや地域の仲間とのチャレンジの話を知っていると、これからも日本一の食糧基地の地位は揺るがないと確信しました。年月を経ても坂の上の雲を見るがごとくのびのびと家業である農業に取り組んでいただくようお願い気持ちでいっぱいです。そしてご子息にその背中を見せていただければと思います。(黒田)



十勝の畑は大きい!

NHKの朝の連続ドラマ「おひさま」がとうとう最終回を迎えてしまいました。というのも、第1回目から欠かさず見続けてきたので、ちょっと残念というところです。出来れば娘(日向子の小学校入学がラストシーンでしたが)の成長もちょっと見たかったというのが本音でした。何だと思われるでしょうが、私の生まれ故郷は長野県の最北部、新潟県境の町です。私のような信州人は、「信州」と聞くと何かとこだわる傾向が強いようです。これを山国根性!と揶揄する声もあるようです。さて、ドラマの中で学童たちが常念岳に登山する場面がありましたが、何と県歌「信濃の国」を全員で歌っているではありませんか!感激してしまいました。そして、あとは言葉です。「お出でなんし~」とか「はーるか振りだね~」とか…。そう言えば信州には「ずく出せ!」という言葉もあります。この意味は、「面倒くさがらないでしっかりやれ!」というようなニュアンスかと思っています。反対語としては「ずく無し」となります。

朝ドラの話に戻りますが、20%近い高視聴率の要因を私なりに解析すると、見ていて「清々しく、ゆったりほんわかった気分浸れた」ことではないでしょうか?これは何故か?と考えてみました。どうも出演者の会話の中にヒントがありそうです。まず、ゆっくりした会話でしかも言語明瞭、背筋をピンと伸ばして相手と正対し、目をみて話しをしています。



いずれも十勝産の「お・・美味しい!」

もう一つは、両親や年長者、そして他人に対する思いやりにも溢れていました。相手の話や気持ちをしっかり受け止めて、言語明瞭にゆっくり答えるという、正にお客様相談室の基本的な対応姿勢に通じるところです。そう言えば、今回の取材に同行してくれた営業所の担当者が、大場さんは「おひさま」の主人公の旦那さん(和成)に良く似ているね!と言っていました。私もまったく同感でした。(小川)

次月号の - 農力だよりは  
11月30日(水)の発行予定です。  
どうぞお楽しみに!!